令和8年度 古賀市立古賀東中学校 学校経営要綱

教育理念

【共創】　共に学び　共に創る

校　訓

「自主」「創造」「敬愛」

Ⅰ 学校経営の基盤

(1) 公教育としての学校【法令遵守】

日本国憲法、教育基本法、学校教育法をはじめとする教育関係諸法規、教育振興基本計画の方針、古賀市学校教育推進施策、並びに学習指導要領を基盤とする。

(2) 現代社会の要請に応える学校【社会的責任】

国が示す教育振興基本計画の方針を踏まえ、主体的にたくましく生きる力を育成するとともに、我が国の伝統と文化を尊重し、国際社会に生きる資質を養う。

(3) 保護者や地域の願いに応える学校【状況把握】

福岡県教育施策及び古賀市教育行政の目標と主要課題に則り、現在と未来を考え、生徒や保護者、地域及び学校の実態に即したものにする。

(4) 信頼される学校【顧客満足】

中立性を確保し、公共性、公益性をめざして、生徒の学力と進路の権利を保障し、保護者や地域と連携・協働する。

(5) 人権教育を推進する学校【自他尊重】

福岡県人権教育啓発基本指針、学校教育における人権に関する指導上の指針、古賀市人権施策基本指針に基づいて人権教育を推進する。

2 学校経営の基本構想

(1) 学校経営の基本理念

本校は、校訓「自主・創造・敬愛」のもと、生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、変化の激しい社会を生き抜く力を育成する。本校の校訓及び、社会における責任を自覚し、多様な他者との対話と協働を通して、新たな価値やよりよい学びを共に創り出していく『共創～共に学び、共に創る～』の理念を踏まえ、学校経営の一層の充実を図る。

(2) 学校の教育目標

『志をもって自ら意欲的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成』

(3) 具体目標

ア 校訓　**「自主」「創造」「敬愛」**

◆行動語（共創）◆

自主 ― **きづく**（学び・自分・仲間・将来に気づく）

創造 ― **つくる**（対話をとおして、未来を創る）

敬愛 ― **ともに**（違いを認め、ともに生きる）

AI 技術の進展や社会構造の変化の中にあっても、生徒が受け身ではなく主体的に社会と関わり、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造し、よりよい社会と幸福な人生を切り拓く力を育成することが求められている。

本校の学校教育目標「志をもって自ら意欲的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成」は、校訓「自主・創造・敬愛」を基盤とするとともに、本校が大切にする『共創～共に学び、共に創る～』の理念を踏まえて設定したものである。

○「志をもつ生徒」とは、自分自身の生き方や社会の在り方に目を向け、将来の目標や願いをもちながら、日々の学びや行動に意味を見いだす生徒である。

これは校訓「自主」に通じるものであり、生徒一人ひとりが自らの学びや成長に気づき、課題や目標を主体的に捉えて行動する力を育てることを意味する。自己選択・自己決定の経験を積み重ねることで、学びを自分事として深め、困難に直面しても方向性を見失わずに将来の目標に向けて挑戦し続ける「志」を培う。

○「自ら意欲的に学ぶ生徒」とは、学習の目的や自分の課題に気づき、主体的に考え、対話や協働を通して学びを創り深めていく生徒である。

これは校訓「創造」が示す姿であり、多様な考えや価値観を交差させながら、新たな意味や解決を生み出していく（創る）力の育成につながる。探究的な学習や自治的活動を通して、失敗や試行錯誤を学びの過程として受け止め、社会の変化に柔軟に対応しながら未来を切り拓く力を養う。

○「心豊かにたくましく生きる生徒」とは、自他を尊重し、違いを認め合いながら人とともに関わり、変化の激しい社会の中でも前向きに生きようとする生徒である。

これは校訓「敬愛」の精神に基づくものであり、人権教育や特別支援教育を基盤とした、誰もが安心してともに学び合える学校づくりにつながる。

本校は、これら三つの柱と三つの校訓を相互に関連付け、共に学び、共に創る教育活動を展開することを通して、生徒一人ひとりが心豊かに、そして困難にも粘り強く立ち向かうたくましさを身につけ、持続可能な社会の担い手として主体的に生きる力の育成をめざす。

イ めざす学校像

【自主】 学びへの課題や自らの成長に気づき、主体的に行動できる学校

【創造】 対話と協働を通して、新たな学びや価値を創り続ける学校

【敬愛】 人権が尊重され、誰もが安心して過ごせる学校

ウ めざす生徒像

【自主】 気づきを大切にし、自ら学び続ける生徒

【創造】 他者と協働し、考えを深めながら新たな価値を創り出す生徒

【敬愛】 自他を尊重し、ともによりよく生きようとする生徒

エ めざす教職員像

【自主】 専門性を高め、自ら学び続ける教職員

【創造】 同僚性を発揮し、協働によって教育活動を創り上げる教職員

【敬愛】 生徒一人ひとりに寄り添い、成長を支える教職員

オ めざす授業像

【自主】 課題に気づき、見通しと振り返りを通して主体的に学ぶ授業

【創造】 対話と協働を通して考えを深め、学びを創る授業

【敬愛】 誰もが安心して参加でき、一人ひとりが大切にされる授業

カ めざす家庭・地域との連携

【自主】 基本的生活習慣・学習習慣の定着に協力する家庭・地域

【創造】 本校の教育活動を協働して行う家庭・地域

【敬愛】 社会的自立ために寄り添っていく家庭・地域

3 教育課題と経営課題

(1)教育課題

①主体的・対話的で深い学びの具現化

②自他を尊重し、ともに生きる力の育成

③多様な教育的ニーズに応じた包摂的な学びの保障

(2)経営課題

①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

②心理的安全性の高い学習・生活環境の構築

③多様な教育的ニーズに対応する校内支援体制の充実及び教職員の専門性向上

4 経営の方針

(1)重点目標

『自らの学びに気づき、対話と協働をとおして考えを深め、共に未来を創る生徒の育成』

急激な社会変化や不確実性が高まる現代において、学校教育には、知識・技能の習得にとどまらず、学びを自ら調整し、他者と協働しながら新たな価値を創造していく力の育成が求められている。次期学習指導要領の「論点整理」においても、主体的に学びに向かう姿勢や、対話を通して考えを深める学習過程、社会とつながる学びの重要性が示されている。

本校では、これまで培ってきた「笑顔あふれるあたたかい学校」としての実践を基盤に、生徒一人ひとりが自らの学びや行動に責任をもち、多様な他者と協働しながら価値を創り出す力の育成をめざす。そのため、授業改善を中核に、探究的な学習や自治的活動を通した対話と協働の充実、人権教育を基盤とした心理的安全性の高い学習・生活環境の構築、多様な教育的ニーズに応じた包摂的な支援体制の整備を相互に関連付け、学校生活全体で共創を推進する。

また、本校が大切にしてきた東風魂四訓（あいさつ・感謝の心・時間厳守・環境美化）を、共創を支える責任ある行動の土台として位置付け、生徒会活動を中心とした自治的な取組を通して、学びと生活のつながりを深める。これらの取組を教職員の協働による組織的な運営と改善につなげることで、生徒一人ひとりが社会の形成者として主体的に行動できる力の育成をめざす。

【成果指標】

①主体的・対話的で深い学びの具現化

ア)令和8年度全国学力調査	標準化得点　・　:国語95P以上、数学95P以上
イ)令和8年度全国学力調査	四分位層のC・D層生徒の割合:国語50%以下、数学50%以下
ウ)令和8年度福岡県学力調査	四分位層のC・D層生徒の割合:国語・数学50%以下
エ)令和8年度標準学力調査	四分位層のC・D層生徒の割合:5教科各50%以下
オ)授業評価アンケート	各教科3.2P以上

② 自他を尊重し、ともに生きる力の育成

ア)東風魂四訓アンケート	各項目 3.2P 以上
イ)生活アンケート	各項目 3.2P 以上

③多様な教育的ニーズに応じた包摂的な学びの保障

ア)授業評価アンケート	各項目 3.2P 以上
イ)アセス	各項目 3.2P 以上

（2）重点目標達成に向けた経営の重点と方策

①主体的な学びによる学力向上〔自主：きづく〕

ア 見通し・行動・振り返りを重視した授業改善

イ 学ぶ意欲を高める自己調整学習の推進

ウ 教科横断的な視点でのカリキュラムマネジメントの推進

②対話と協働を通した学びの創造〔創造：つくる〕

ア 主体的・対話的で深い学びの実現

イ 探究的な学習や自治的活動の体系的充実

ウ キャリア教育を軸とした教育課程全体の組織的設計

③人権教育を基盤とした共感的な関係づくり〔敬愛：ともに〕

ア 心理的安全性の高い学習・生活環境の構築

イ 人権教育副読本いのちのノート「ともに生きる」を活用した学びの充実

ウ 教職員の人権感覚を高める研修体制の充実

④多様な他者との関わりによる責任ある行動と協働性の育成

ア 生徒会活動を中心とした自治的な取組の充実

イ 東風魂四訓を基盤とした共創の土台づくり

【東風魂四訓】
「あいさつ」：相手の存在や気持ちに気づき、安心して関わり合える関係をつくることで、対話と協働による学びをひらく。
「感謝の心」：支え合いに気づき、互いを認め合うことで、違いを尊重しながら共に学び、関わり合う。
「時間厳守」：自らの行動が集団に与える影響に気づき、時間を守り信頼をきずくことで、協働的な活動を支える。
「環境美化」：学びの場への責任に気づき、誰もが安心して学べる環境を整えることで、未来につながる学びを支える。

ウ 小中接続・CS連携を生かした地域学校協働体制の構築

⑤特別支援教育の視点を生かした支援の充実

ア 合理的配慮とユニバーサルデザインを意識した授業実践

イ 主体性、協働性を引き出す学習・生活環境の整備

ウ 教育的ニーズの情報共有とチーム支援体制の確立

⑥発達支持的生徒指導と教育相談体制の充実

ア 自己選択・自己決定の機会を活かした指導の充実

イ 対話を通して「納得解」「最適解」を導く生徒指導の推進

ウ 教育相談、キャリア支援を一体化した組織的支援体制の充実

⑦教職員の協働と働き方改革の推進（古賀市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画による）

ア 職員の同僚性を発揮した協働的な学校運営の推進

イ 校内OJTを中心とした教職員の専門性向上

ウ 業務改善と役割分担を明確にした組織的働き方改革の推進

令和8年度 古賀市立古賀東中学校 学校経営構想

学校教育目標 『志をもって自ら意欲的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成』

教育理念

【共創】 共に学び 共に創る

校 訓

「自主」「創造」「敬愛」

行動語（共創）

自主 ― きづく（学び・自分・仲間・将来に気づく）
創造 ― つくる（対話をとおして、未来を創る）
敬愛 ― ともに（違いを認め、ともに生きる）

めざす生徒像

【自主】気づきを大切にし、自ら学び続ける生徒
【創造】他者と協働し、考えを深めながら新たな価値を創り出す生徒
【敬愛】自他を尊重し、ともによりよく生きようとする生徒

めざす教職員像

【自主】専門性を高め、自ら学び続ける教職員
【創造】同僚性を発揮し、協働によって教育活動を創り上げる教職員
【敬愛】生徒一人ひとりに寄り添い、成長を支える教職員

めざす学校像

【自主】学びへの課題や自らの成長に気づき、主体的に行動できる学校
【創造】対話と協働を通して、新たな学びや価値を創り続ける学校
【敬愛】人権が尊重され、誰もが安心して過ごせる学校

教育課題

①主体的・対話的で深い学びの具現化
②自他を尊重し、ともに生きる力の育成
③多様な教育的ニーズに応じた包摂的な学びの保障

経営課題

①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
②心理的安全性の高い学習・生活環境の構築
③多様な教育的ニーズに対応する校内支援体制の充実及び教職員の専門性向上

重点目標 『自らの学びに気づき、対話と協働をとおして考えを深め、共に未来を創る生徒の育成』

きづく
重点①主体的な学びによる学力向上

東風コンパス

ともに
重点③人権教育を基盤とした共感的な関係づくり

つくる
重点②対話と協働をとおした学びの創造

重点④多様な他者との関わりによる責任ある行動と協働性の育成

東風魂四訓
きづく
ともに
つくる

重点⑤特別支援教育の視点を生かした支援の充実

重点⑥発達支持的生徒指導と教育相談体制の充実

重点⑦教職員の協働と働き方改革の推進